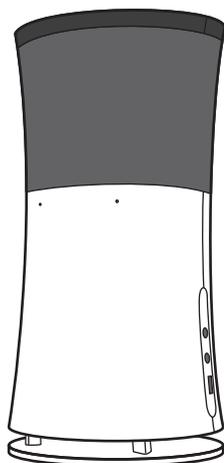
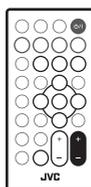


コンパクトコンポーネントシステム

型名 **NX-SA55-B/NX-SA55-R/
NX-SA55-T/NX-SA55-W**



お買い上げありがとうございます

△ご使用前に

この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

特に別紙の「安全上のご注意」は、必ずお読みいただき安全にお使いください。

そのあと本書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。



ユーザー登録
のすすめ

お買い上げいただきました製品について「ユーザー登録」をお願いいたします。ご登録いただきますと製品のサポート情報、製品情報やイベント情報の提供サービスなどをご利用いただけます。また、今後のよりよい製品開発のためのアンケートにもご協力をお願いいたします。

●下記アドレスのホームページより、ご登録ください。

<http://www3.jvckenwood.com/reg/>

はじめに

本書の見かた

- 本書では、主にリモコンのボタンを使って操作説明しています。特に表記のないボタンはリモコンのボタンを示しています。本体のボタンに同じマークがある場合には、本体のボタンもお使いいただけます。

本書の表記

- 本書の説明で「iPod」と表記しているときは、iPhoneとiPod touchを含みます。iPhone、iPod touchを指すときは、「iPhone」、「iPod touch」と表記します。
- 本書の説明で「Android端末」と表記しているときは、Android OSを搭載したスマートフォンやタブレット端末などを含みます。
- 本書ではMP3/WMAの説明をする場合、「ファイル」と「曲」、「フォルダ」と「グループ」は同じ意味で使っています。

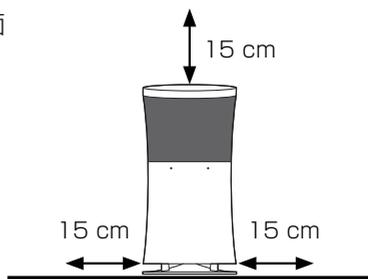
オートパワーセーブ(節電機能)について

- 本機には、消音状態などが15分間続くと自動で電源が切れる「オートパワーセーブ」があり、お買い上げ時には有効になっています。(⇒11ページ)

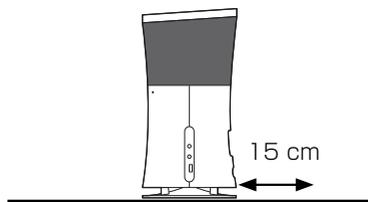
本機を設置するときは

- あお向けや横倒し、逆さまにしない
- 本箱、押し入れなど風通しの悪い狭い所に押し込まない
- 本や雑誌などをのせない
- じゅうたんや布団の上に置かない
- 機器の各面から、図に示すスペースを空けてください。

正面



側面



この製品の機種銘板は本体の底面にあります

レーザー製品についてのご注意

1. この製品は、JIS C6802規格に基づくクラス1レーザー製品です。
2. **注意**：機器内部には、危険なレーザー放射部があります。分解、改造はしないでください。

もくじ

はじめに	2	BLUETOOTH 機器を 聞く.....	17
本機を設置するときには	2	初めて接続する	17
準備	4	再生する	17
付属品を確認する	4	接続を解除する	18
リモコンを準備する	4	BLUETOOTH機器から電源を 操作する	18
接続	4	リモコンアプリを使う	20
アンテナを接続する	4	ラジオを聞く	21
ACアダプターを接続する	5	放送局を受信する	21
各部の名称	6	放送局を記憶させる(プリセット)	21
本体上面/前面	6	外部機器を聞く	22
本体側面/背面	7	外部機器を接続する	22
リモコン	8	再生する	22
基本操作	9	USB 機器に録音する	23
ふだんの使いかた	9	CDを録音する	23
電源を入れる	9	ラジオ/外部機器を録音する	25
音源を選ぶ	9	曲を削除する	25
音量を調節する	9	タイマーを使う	26
時計を合わせる	9	スリープタイマーを設定する	26
サウンドエフェクトを使う	10	デイリータイマーを設定する	26
サブウーハーを調節する	10	録音タイマーを設定する	27
サウンドモードを使う	10	その他	28
表示を変える	10	再生できるiPod	28
オートパワーセーブ(節電機能)を 使う	11	USB機器のご注意	28
CDドアをロックする (チャイルドロック)	11	使用できるBLUETOOTH機器	28
ヘッドホンで聞く	11	再生できるCDとファイル	29
iPod を聞く	12	CD-R / CD-RWのご注意	29
iPodを接続する	12	MP3/WMAファイルのご注意	29
再生する	12	録音されるファイル	30
iPodを操作する	13	SCMS	30
付属スタンドの使いかた	13	お手入れについて	30
USB 機器 / CD を聞く	14	困ったときは	31
USB機器またはCDを準備する	14	商標	33
再生する	14	主な仕様	34
プログラム再生をする	15	保証とアフターサービス	35
ランダム再生をする	16		
リピート再生をする	16		

準備

付属品を確認する

お使いになる前にお確かめください。

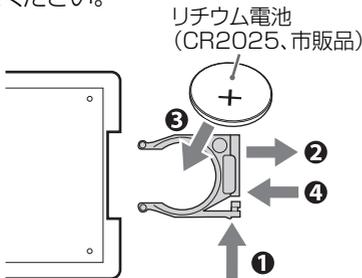
- ・リモコン(1個)
RM-SNXSA55-W
- ・リチウム電池CR2025(1個)
(出荷時にリモコンの中に入っています。)
- ・ACアダプター(1個)
AA-R2001
- ・AC電源コード(1本)
- ・FM簡易型アンテナ(1本)
- ・AMループアンテナ(1個)
- ・iPod用スタンド(1個)

リモコンを準備する

初めてリモコンを使用するときは、リモコンの絶縁シートを引き抜いてください。操作範囲が狭くなったり、本体に近づけないと操作できなくなったりしたときは、新しい電池と交換してください。

電池を交換する

電池ぶたを引き出し、電池の+面を上に入れてください。



ご注意

- ・付属の電池は動作確認用です。早めに新しい電池と交換してください。
- ・電池は、「安全上のご注意」(別紙)をお読みの上、正しくお取り扱いください。
- ・使用済みの電池は、絶縁テープなどを貼って絶縁し、「所在自治体の指示」に従って廃棄してください。
- ・落としたりぶつけたりなど、リモコンに強い衝撃を与えないでください。

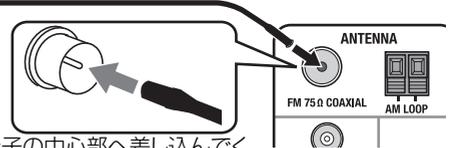
接続

アンテナを接続する

ラジオを聞く前に必ずアンテナを接続してください。

アンテナは、一般に窓の近くに設置するほうが良好に受信できます。

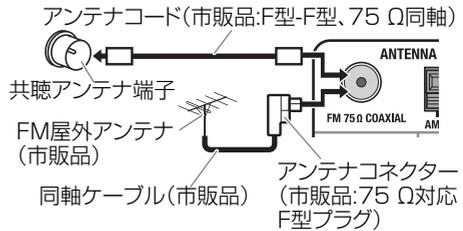
FM簡易型アンテナ(付属品)



端子の中心部へ差し込んでください。抜け防止のため固くなっています

最も受信状態の良い位置と方向にまっすぐ伸ばしてください。

マンションなどの壁の共聴アンテナ端子またはFM屋外アンテナを使うとき



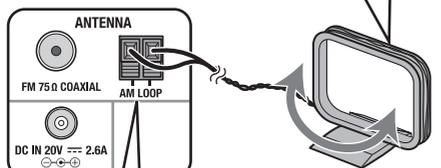
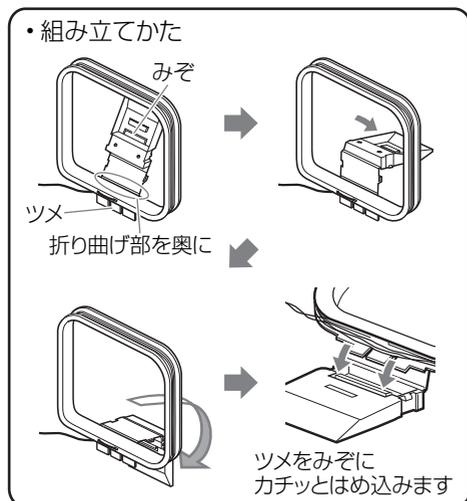
- ・付属品以外のアンテナを接続する際の詳細については、アンテナおよびアンテナコネクターの取扱説明書を参照してください。
- ・アンテナの設置場所を決めるときは、実際の放送を聞きながら行ってください。

ご注意

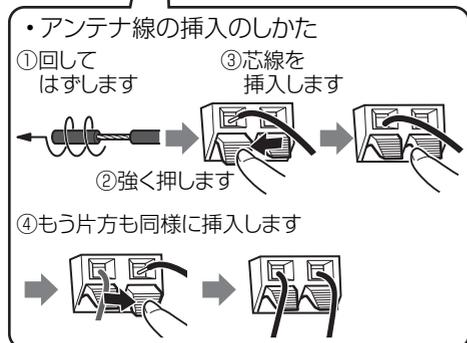
- ・アンテナの導線部分が他の端子やケーブルに触れないようにご注意ください。また、アンテナを他のケーブルから離してください。受信の妨げになることがあります。
- ・ケーブルテレビ会社と契約しているマンションの共聴アンテナ端子に本機のFM端子を接続している場合は、FM放送局の周波数が通常と異なることがあります。詳細は、ご契約のケーブルテレビ会社へお問い合わせください。

すべての接続が終わってから、電源コードのプラグをコンセントへ差し込んでください。

AMループアンテナ(付属品)



接続したAMループアンテナを左右に回して最も受信状態の良い方向に向けて置きます

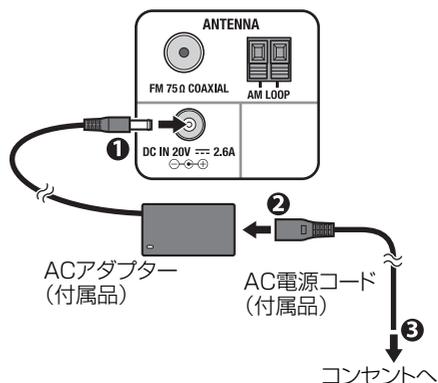


ご注意

- ・AMループアンテナは、アンテナ線が枠に巻かれた状態のままお使いください。枠からはずすとアンテナの効果がなくなり、感度が悪くなります。
- ・アンテナの導線部分が他の端子やケーブルに触れないようにご注意ください。また、アンテナを他のケーブルから離してください。受信の妨げになることがあります。

ACアダプターを接続する

付属のACアダプターを本機のDC IN端子に接続してください。付属のAC電源コードをACアダプターに接続してから、コンセントに差し込んでください。



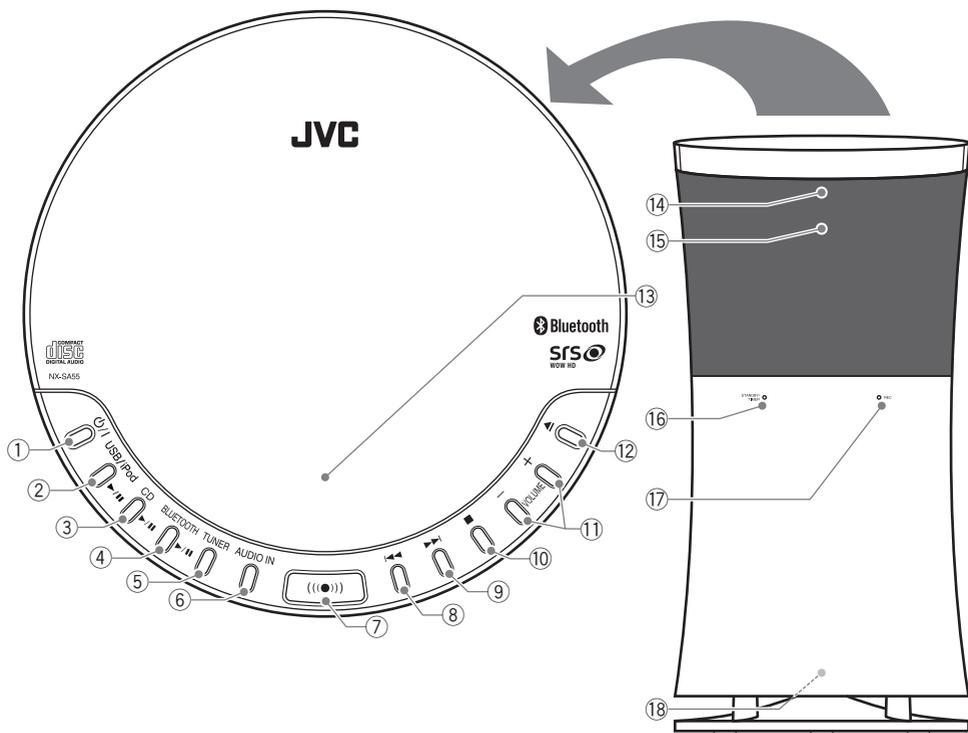
- ・出かけるときや長期間使用しないときは、ACアダプターをコンセントから抜いてください。

ご注意

- ・火災や感電を防ぐために
 - 付属のACアダプター以外は使用しないでください。
 - 付属のACアダプターを本機以外の製品には使用しないでください。
 - 付属のAC電源コード以外は使用しないでください。
 - 付属のAC電源コードを本機以外の製品には使用しないでください。

各部の名称

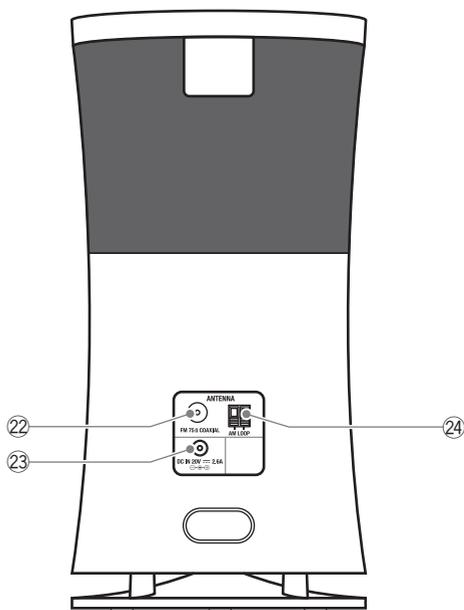
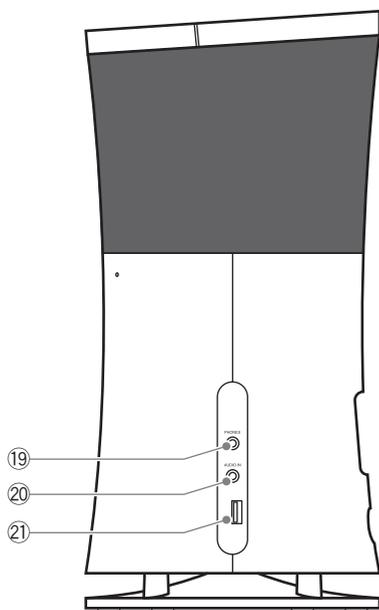
本体上面/前面



- ① 電源ボタン(⇒9ページ)
- ② USB/iPod ▶/||ボタン
(⇒12、14ページ)
- ③ CD ▶/||ボタン(⇒14ページ)
- ④ BLUETOOTH ▶/||ボタン
(⇒17、18ページ)
- ⑤ TUNERボタン(⇒21ページ)
- ⑥ AUDIO INボタン(⇒22ページ)
- ⑦ ((●)) (サウンドエフェクト)ボタン
(⇒10ページ)
- ⑧ ◀◀ボタン
- ⑨ ▶▶ボタン
- ⑩ ■ボタン
- ⑪ VOLUME +/-ボタン(⇒9ページ)
- ⑫ ▲ボタン(⇒14ページ)
- ⑬ CDドア(⇒14ページ)

- ⑭ リモコン受光部
- ⑮ 表示部
- ⑯ STANDBY/TIMERインジケータ
(電源が切れているときは赤色に、タイ
マー待機中は橙色に点灯します)
- ⑰ RECインジケータ(⇒23ページ)
(録音中に点灯します)
- ⑱ サブウーハー(⇒10ページ)

本体側面/背面



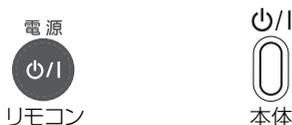
- ①⑨ PHONES端子(⇒11ページ)
- ②⑩ AUDIO IN端子(⇒22ページ)
- ②⑪ USB端子(⇒12、14ページ)

- ②⑫ FM 75Ω COAXIALアンテナ端子(⇒4ページ)
- ②⑬ DC IN端子(⇒5ページ)
- ②⑭ AM LOOPアンテナ端子(⇒5ページ)

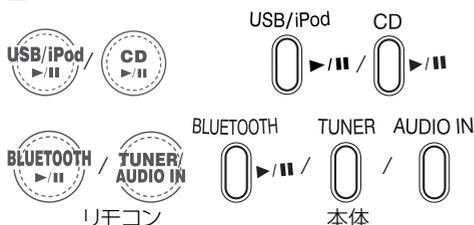
基本操作

ふだんの使いかた

1 電源を入れる



2 音源を選ぶ



3 音量を調節する



調節範囲: MIN, 1 ~ 39, MAX

電源を切る



一時的に消音する

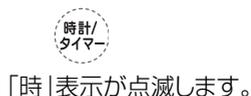
消音

「MUTING」表示が点滅します。

- もう1度押すか、リモコンの【音量+】または本体の【VOLUME +】を押すと元の音量に戻ります。

時計を合わせる

1 時計設定表示にする



- すでに時計を設定している場合は、【時計/タイマー】を1回押した後、【アップ】/【ダウン】をくり返し押し、「CLOCK」を表示させ、【決定】を押してください。

2 「時」を合わせる



3 「分」を合わせる



「分」を合わせると、「CLOCK OK」と表示され、設定が完了します。

お知らせ

- 操作の途中で【キャンセル】を押すと前の手順に戻ります。
- 本機の時計は月に1、2分程度のズレが生じる場合があります。定期的に時計を合わせ直すことをおすすめします。
- 電源を抜いたり、停電で電源が切れたりした場合は、時計を合わせ直してください。

基本操作 (つづき)

サウンドエフェクトを使う

ダイナミックで臨場感あふれる音響効果を得ることができます。



リモコン



本体

1度押しと、現在の設定を表示し、さらに押しと設定が切り換わります。

WOW HD: 正面付近で聞くのに適しています。

EH-1 (エンハンスモード 標準):
正面エリア全体にリスニングポイントが広がります。

EH-2 (エンハンスモード 強):
正面エリア全体にリスニングポイントがさらに広がります。

OFF: サウンドエフェクトをキャンセルします

サブウーハーを調節する

重低音の音量を調節します。



サブウーハー

(くり返し押し)

調節範囲: 1 ~ 5

サウンドモードを使う

お好みのサウンドモードを選べます。



1度押しと、現在の設定を表示し、さらに押しと設定が切り換わります。

→ **ROCK** → **CLASSIC** → **JAZZ** ←
 FLAT (キャンセル) ← **POP** ←

表示を変える

表示部の情報を変える



押すたびに時計表示や各種の情報表示に切り換わります。

- 音源によって、表示される情報は異なります。

時計表示例

12.34

再生中の表示例

10 2.45

再生している曲の番号 再生経過時間

停止中の表示例

G12 T798
MP3/WMA: 総グループ数 総トラック数
(CD, USB)

音楽CD: **20 63.49**
 総曲数 総再生時間

お知らせ

- 電源が切れているときに[■]を押すと、時計を5秒間表示します。
- 本機はID3 TAG VERSION 1,2(曲名、アーティスト名、アルバム名)、ファイル名、フォルダ名を表示できます(ただし半角英数字のみ、小文字は大文字で表示されます)。
- iPodでは、タグ情報は表示されません。

表示の明るさを変える



押すたびに表示の明るさの設定が切り換わります。

- DIM 1:** 表示が暗くなります
DIM 2: 表示がさらに暗くなります
DIM OFF: 通常の明るさです

オートパワーセーブ(節電機能)を使う

オートパワーセーブがONのとき、以下のような状態で約15分間何も操作が行われない場合、本機の電源が自動的に切れます。

- 音量が「MIN」のとき、または消音しているとき
 - 音源が「USB」で、何も接続していないとき
 - 音源が「BT」で、BLUETOOTH機器を接続していないとき
 - 音源が「USB」または「CD」で、再生していないとき
 - 音源が「AUDIO IN」で、音声が入力されていないとき
- 15分間のカウント中は、1分ごとに「APS」と表示します。
 - 本機の電源が切れる約30秒前に「APS」表示が点滅を始めます。
 - 途中で機器の着脱やボタン操作を行なった場合は、その時点から15分間カウントし直します。
 - デイリィタイマーやスリープタイマーの動作中もオートパワーセーブは働きます。
 - お買い上げ時の設定は「APS ON」です。



1度押すと、現在の設定を表示し、さらに押すと設定が切り換わります。

APS ON (入) ↔ APS OFF (切)

CDドアをロックする (チャイルドロック)

本体で設定します。

CDドアが開かないように設定できます。小さなお子様のいたずら防止などに便利です。

電源が切れているときに



([◀]を押したまま[▲]を長押し)
本体

「LOCKED」と表示されます。

解除する

もう1度同じ操作をする

「UNLOCKED」と表示され、解除になります。

ヘッドホンで聞く

ヘッドホンをつける前や、ヘッドホンのプラグを抜き差しする前に、音量を最小にしておいてください。



- ヘッドホンを接続すると、スピーカーから音が出なくなります。
- サウンドエフェクトおよびサブウーハーの設定(⇒10ページ)は、ヘッドホンからの音声には効果がありません。

iPodを聞く

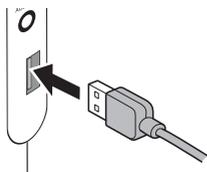
iPodを接続する

iPodを本機に接続して、本機から操作できません。

接続方法には、USBケーブルを使ってつなぐ方法と、BLUETOOTH機能を使ってワイヤレスで接続する方法があります。ワイヤレスでの接続方法については、「BLUETOOTH機器を聞く」(⇒17ページ)をご覧ください。

- iPodは、停止状態で取りはずしてください。再生中に取りはずすと、ファイルやiPodのファイルシステムが破損する恐れがあります。

iPodをUSBで接続する



iPod用USBケーブル(iPodに付属またはアップル認定の市販品)

接続に成功すると、本機に「iPod」と表示されます。

お知らせ

- 本機の電源が入っている間、iPodは充電されます。

ご注意

- 本機からiPodに録音することはできません。

再生する



リモコン

USB/iPod



本体

iPodの電源が入り、再生が始まります。

一時停止する



リモコン

USB/iPod



本体

- もう1度押しすと、一時停止を解除します。

曲を選ぶ

聞きたい曲になるまでくり返し押します



リモコン

◀▶



本体

早戻し/早送りする

聞きたい部分になるまで押し続けます



リモコン

◀▶



本体

シャッフル再生をする



再生モード

押すたびにシャッフル再生モードが切り換わります。

リピート再生をする

チューナーモード



リピート

押すたびにリピート再生モードが切り換わります。

iPodをスリープさせる



お知らせ

- 接続している機器の種類により、動作が異なることがあります。
- iPodのイコライザーを使用していると、録音レベルが高い音を再生したときに音がひずむことがありますので、使用しないことをおすすめします。
- iPhoneまたはiPod touchの接続中に次の操作を行うときは、iPhoneやiPod touchで操作します。
 - ホームボタンを押す
 - ホーム画面でアプリケーションアイコンを選ぶ
 - スライダーをドラッグする
- iPodの操作については、iPodに付属の取扱説明書をご覧ください。

iPodを操作する

1 メニューを表示する



2 項目を選ぶ



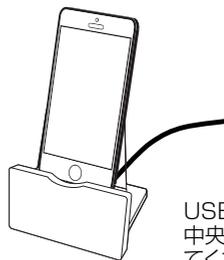
前のメニューに戻る
【メニュー】を押す

お知らせ

- 一部のiPodでは、メニュー画面の操作を行うときは、iPodで操作してください。

付属スタンドの使いかた

本機付属のiPod用スタンドをご使用いただくと、iPodを立てて置くことができます。



USBケーブルは、スタンド中央の窪みから後ろに通してください

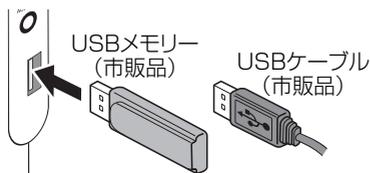
ご注意

- スタンドは平らな安定した場所に設置してお使いください。
- 本機の上に設置すると故障の原因となったり、スタンドが落下する危険があります。
- お使いの端末、カバーのサイズによっては対応できないものもあります。

USB 機器 / CD を聞く

USB機器またはCDを準備する

USB機器



- USB機器は、停止状態で取りはずしてください。再生中または録音中に取りはずすと、ファイルやUSB機器のファイルシステムが破損する恐れがあります。

ご注意

- MTPモードには対応していません。

CD

1 CDドアを開ける



2 CDを入れる

- 「カチッ」と音がするまでCDを入れてください。



3 CDドアを閉める



- CDドアを手で開閉しないでください。

再生する



USB機器またはCDを読み込み、再生が始まります。

停止する



リモコン



本体

- MP3/WMAファイルは再生停止後、再度[USB/iPod ▶/||]/[CD ▶/||]を押すと、再生していた曲の先頭から再開します(リジューム機能)。停止中にもう1度[■]を押すと、リジューム機能は解除されます。

一時停止する



リモコン



本体

- もう1度押すと、一時停止を解除し、再生します。

曲を選ぶ

聞きたい曲になるまでくり返し押します



リモコン



本体

早戻し/早送りする

再生中に聞きたい部分になるまで押し続けます



リモコン



本体

- 通常再生に戻すには、ボタンをはなします。または再生中に



押すたびに早戻し/早送りの速度が次のようになります。

×5

➡ ×10 (MP3/WMAファイルのみ)

➡ ×1 (通常再生)

- 通常再生に戻すには、[USB/iPod ▶/||] または [CD ▶/||] を押します。

グループを選ぶ(MP3/WMAのみ)

停止中に



(くり返し押す)

グループを選択します。

プログラム再生をする

リモコンで操作します。

USB機器またはCDの曲を、32曲までお好みの順で再生します。

1 USB機器またはCDの再生を停止する

2 「PROGRAM」を選ぶ



(くり返し押す)

NORMAL ↔ PROGRAM

3 登録したい曲を選ぶ

登録したい曲になるまでくり返し押します



・プログラムを登録するときは、グループ番号で曲を探すことはできません。

4 手順3をくり返して、他の曲を登録する

5 再生する



プログラムした順序で曲が再生されます。

プログラム内容を確認する

停止中に



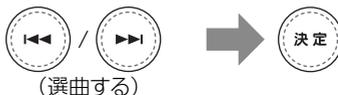
(くり返し押す)

登録した曲が順に表示されます。

プログラムに曲を追加する

追加したい曲を選ぶ

停止中に



(選曲する)

登録した曲を削除する

停止中に



押すたびにプログラムの最後の曲が取り消されます。

・[キャンセル]を長押しすると、プログラム内容がすべて取り消されます。

プログラム再生をやめる

「NORMAL」を選ぶ

停止中に



(くり返し押す)

・以下の場合もプログラム内容が消去され、プログラム再生は解除されます。

- 電源を切る
- 音源を変える
- USB機器を取りはずす
- CDDアを開ける

USB 機器 / CD を聞く (つづき)

ランダム再生をする

USB機器またはCDの曲をランダム(無作為)な順序で再生します。

- 1 USB機器またはCDを再生する
- 2 「RANDOM」を選ぶ



(くり返し押し)

NORMAL ↔ **RANDOM**

ランダムな順序で曲が再生されます。

- グループ内ランダムではなく、全曲ランダムになります。
- ランダム再生中に[◀◀]を押しても、前の曲に戻ることはできません。

ランダム再生をやめる

「NORMAL」を選ぶ

再生中に



(くり返し押し)

- 以下の場合もランダム再生は解除されます。
 - 電源を切る
 - 音源を変える
 - USB機器を取りはずす
 - CDドアを開ける
 - 停止する

リピート再生をする

USB機器またはCDの聞きたい曲をくり返し再生します。

- 1 リピートの種類を選ぶ
再生中、または停止中に

チューナーモード



1度押しと、現在の設定を表示し、さらに押しと設定が切り換わります。

- RPT 1:** 現在の曲をくり返します
 - RPT GR*:** 現在のグループの曲をくり返します
 - RPT ALL:** USB機器またはCDのすべての曲をくり返します
 - RPT OFF:** リピート再生を解除します
- * MP3/WMAのみ

- 2 (停止中のときは)再生する



お知らせ

- プログラム再生中に「RPT ALL」にすると、プログラムをリピート再生します。
- ランダム再生中に「RPT ALL」にすると、全曲ランダムリピート再生します。

リピート再生をやめる

「RPT OFF」を選ぶ

チューナーモード



(くり返し押し)

- 以下の場合もリピート再生は解除されます。
 - 電源を切る
 - 音源を変える
 - USB機器を取りはずす
 - CDドアを開ける

BLUETOOTH 機器を聞く

初めて接続する

お手持ちのポータブルプレーヤー等のBLUETOOTH機器の音を本機で聞くことができます。

初めて接続するときは、BLUETOOTH機器と本機を登録(ペアリング)する必要があります。

1 音源を「BT」(BLUETOOTH)にする



「BT READY」表示になります。

2 BLUETOOTH機器でペアリング操作をする

・ペアリングについてはBLUETOOTH機器の取扱説明書をご覧ください。

BLUETOOTH機器で見つけた機器の中から「NX-SA55」(本機)を選びます。

・ペアリング中にPINコード(パスキー)の入力を求められた場合は、「0000」を入力してください。

接続に成功すると「BT」表示になります。

3 BLUETOOTH機器を再生する

BLUETOOTH機器の再生音が本機から流れます。自動的に再生が始まる場合もあります。

お知らせ

- ・BLUETOOTH機器は5台まで登録できます。6台目のBLUETOOTH機器を登録すると、接続履歴が最も古い機器の登録が削除されます。
- ・2回目以降、本機のBLUETOOTH機能がONであれば、本機は自動的に最後に接続された機器に接続します。
- ・他のBLUETOOTH機器を再接続する場合は、「BT READY」表示中に相手機器で接続操作をしてください。
- ・BLUETOOTH機器によっては、本機に接続できない場合があります。

再生する

最後に接続したBLUETOOTH機器と接続し、再生することができます。



停止する



- ・iPodは一時停止になります。

一時停止する



- ・もう1度押すと、一時停止を解除します。

曲を選ぶ

聞きたい曲になるまでくり返し押します



早戻し/早送りする

再生中に聞きたい部分になるまで押し続けます



- ・通常再生に戻すには、ボタンをはなします。

BLUETOOTH 機器を聞く (つづき)

接続を解除する



(長押し)
リモコン

BLUETOOTH



(長押し)
本体

押し続けると、「DISCNCT」表示になり、接続が解除されます。

お知らせ

以下の場合も自動的に接続が解除されます。

- BLUETOOTH機器で接続を解除したとき、またはBLUETOOTH機能をオフにしたとき。
- 本機またはBLUETOOTH機器の電源をオフにしたとき(BLUETOOTHスタンバイを除く)。

ご注意

- 本機に接続できる機器は、BLUETOOTHバージョン2.1+EDR、BLUETOOTHプロファイルのA2DPとAVRCPに対応している必要があります。
- BLUETOOTHで接続できる距離は、最大10mです。お使いの環境によっては、これよりも短くなります。
- iPhoneやスマートフォンをBLUETOOTH接続した状態では、電話やメールなどの着信音も本機のスピーカーから流れる場合があります。
- 本機にはマイク機能は搭載されておりません。通話する場合には、本機との接続を解除するか、iPhone/スマートフォンのマイクをお使いください。

BLUETOOTH機器から電源を操作する

BLUETOOTHに対応したAndroid端末から、リモコンアプリを使って、遠隔操作で本機の電源を入れることができます。BLUETOOTH機器で電源を入れるには、BLUETOOTHスタンバイにしておく必要があります。

BLUETOOTHスタンバイにする

電源が切れているときに



BLUETOOTHスタンバイ中は、「BT STBY」と表示されます。

BLUETOOTHスタンバイを解除する

もう1度同じ操作をする

「BT STBY」の表示が消えます。

- 解除するときは10秒ほど待ってから解除の操作をしてください。

リモコンアプリで電源を操作する

- お使いのAndroid端末にリモコンアプリのインストールが必要です。リモコンアプリについては「リモコンアプリを使う」(⇒20ページ)をご覧ください。

- 1 BLUETOOTH機器のBLUETOOTH機能をオンにする
- 2 機器一覧から「NX-SA55」を選択する
- 3 リモコンアプリを立ち上げる
- 4 右下の「設定」アイコンから電源を操作します

お知らせ

リモコンアプリでは電源を入れる以外にも、さまざまな操作をすることができます。

電波について

- 本機は、電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として技術基準適合証明を受けています(または、受けた部品を使用しています)。したがって、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。日本国内のみで使用してください。日本国内以外で使用すると各国の電波法に抵触する可能性があります。以下の事項を行うと、法律で罰せられることがあります。
 - 分解/改造すること
 - 本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと
- 本機は2.4GHz帯の周波数帯を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。ほかの無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

使用上のご注意

本機の使用周波数帯(2.4GHz)では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)及び特定小電力無線局(免許を要しない無線局)並びにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局、並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数帯を変更するか、または電波の発射を停止した上、当社カスタマーサポートセンターにご連絡頂き、混信回避の処置等についてご相談ください。
3. その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して、有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、当社カスタマーサポートセンターへお問い合わせください。

2.4FH1

- 製品に表示している周波数表示の意味は以下の通りです。

2.4	:2.4GHz帯を使用する無線機器です。
FH	:FH-SS変調方式を表します。
1	:電波干渉距離は10mです。

 - ■ ■ :全帯域を使用し、移動帯識別装置の帯域を回避可能です。
- 使用可能距離は見通し距離約10mです。鉄筋コンクリートや金属の壁等をはさんでトランスミッターとレシーバーを設置すると電波を遮ってしまい、音楽が途切れたり、出なくなったりする場合があります。本機を使用する環境により伝送距離が短くなります。
- 下記の電子機器と本機の距離が近いと電波干渉により、正常に動作しない、雑音が発生するなどの不具合が生じることがあります。
 - 2.4GHzの周波数帯域を利用する無線LAN、電子レンジ、デジタルコードレス電話などの機器の近く。
電波が干渉して音が途切れることがあります。
 - ラジオ、テレビ、ビデオ、BS/CSチューナー、VICSなどのアンテナ入力端子を持つAV機器の近く。
音声や映像にノイズがのることがあります。
- 本機は電波を使用しているため、第三者が故意または偶然に傍受することが考えられます。重要な通信や人命にかかわる通信には使用しないでください。

リモコンアプリを使う

リモコンアプリを使う

BLUETOOTHに対応したAndroid端末から、専用リモコンアプリ「JVC Audio Control BR1」を使って、本機を遠隔操作することができます。

アプリを利用するときは、Android端末に本機を登録（ペアリング）する必要があります。（⇒17ページ）

お知らせ

- アプリはGoogle Play (Playストア)から検索して、ダウンロードしてください。
- アプリ画面や内容は変更になる場合があります。
- リモコンアプリを使うためには、お使いのAndroid端末がAndroid OS 2.3以降で、BLUETOOTHプロファイルのSPP (Serial Port Profile)に対応している必要があります。
- すべての端末での動作を保証するものではありません。

リモコンアプリでは次の操作が行えます。

- 電源のオン/オフ
- CD/USBの音楽再生
- TUNERの選局
- タイマー設定
- 音量
- その他

操作など詳しくは、アプリのヘルプをご覧ください。

ご注意

- リモコンアプリで本機の電源を入れるには、あらかじめ「BLUETOOTHスタンバイ」にしておく必要があります。「BLUETOOTHスタンバイ」については、「BLUETOOTH機器から電源を入れる」(⇒18ページ)をご覧ください。

CD操作画面(例)



FM操作画面(例)



ラジオを聞く

ラジオを聞く前にアンテナを接続してください。(⇒4、5ページ)

放送局を受信する

1 「FM」または「AM」を選ぶ



2 放送局を選ぶ



長押しすると、自動的に選局を始め、放送を受信すると停止します。

- 選局を途中で停止したいときは、もう1度押します。
- くり返し押すと、FMでは0.1 MHzずつ、AMでは9 kHzずつ受信周波数が変わります。

FMモードを切り換える

FMステレオ放送が聞きにくいときは、モノラル受信にすると聞きやすくなります。



1度押すと、現在の設定を表示し、さらに押すと設定が切り換わります。

AUTO: ステレオ自動受信
MONO: モノラル受信

放送局を記憶させる(プリセット)

FMおよびAMの放送局を、あわせて最大40局まで記憶させることができます。

1 記憶させたい放送局を受信する

2 プリセット設定表示にする



- 表示が点滅します。
- 表示が点滅している間に、以下の手順を行なってください。

3 記憶させたいプリセット番号を選ぶ



4 記憶させる



- 設定が記憶されます。

お知らせ

- 同じプリセット番号に新しい放送局を記憶させると、前の放送局の記憶は消えます。

記憶した放送局を呼び出す



- 選局されます。

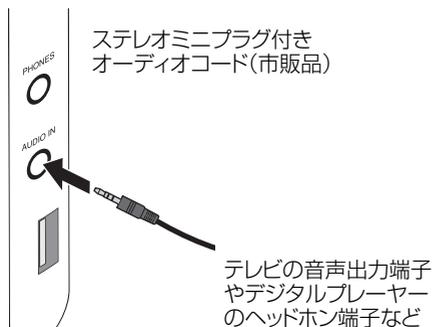
外部機器を聞く

外部機器を接続する

テレビやデジタルプレーヤーなど、外部機器の音声を本機で聞くことができます。

・お使いの外部機器の取扱説明書もご覧ください。

- 1 本機の音量を最小にする
- 2 AUDIO IN端子に外部機器を接続する



再生する

- 1 「AUDIO IN」を選ぶ



- 2 外部機器の再生を始める
- 3 外部機器と本機の音量を調節する

音声入力レベルを調節する

AUDIO IN端子に接続した外部機器の音量が、他の音源と比べて差があるときは、入力レベルを調節してください。



押すたびに設定が切り換わります。

- LEVEL 1: 通常の音声入力レベル
- LEVEL 2: LEVEL 1よりも高いレベル
- LEVEL 3: LEVEL 2よりも高いレベル

USB 機器に録音する

あなたがラジオ放送やCD、テープなどから録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。

ご注意

- 録音する前に、空き容量が十分にあるUSB機器を、USB端子に接続してください。(⇒14ページ)
- iPod/USB機器/BLUETOOTH機器から録音することはできません。
- MP3/WMAファイルを記録したCD-Rから録音することはできません。
- 録音中に本機に衝撃を与えたり、揺らしたりしないでください。録音が正常に行われな可能性あります。
- スリープタイマー動作中は録音できません。

お知らせ

- 録音中に本機の音量や音質を変えても、録音される音声には影響ありません。
- 録音時、CDのランダム再生やリピート再生はできません。
- ファイル形式はMP3(ビットレート: 192 kbps)で録音されます。
- ファイル、フォルダの構造については「録音されるファイル」(⇒30ページ)をご覧ください。

CDを録音する

録音速度を選ぶ(デジタル録音時のみ)

CDをデジタル録音するときは、録音速度を設定することができます。

音源がCDのときに



1度押すと、現在の設定を表示し、さらに押すと設定が切り換わります。

NORMAL: 通常速度、録音中に音が聞けます

HIGH: 高速(約2倍速)、録音中は音が聞けません

- 設定は電源を切っても記憶されます。

音楽CDをデジタル録音する

1 音源をCDにして、再生を停止する

2 録音を始めた曲を選ぶ



(くり返し押す)

- 選んだ曲からCDの最後の曲まで録音されます。CDの全曲を録音したいときは1曲目を選んでください。
- お好みの曲順で録音したいときは、プログラムをして再生停止にしておいてください。(⇒15ページ)

3 録音する



「RECSTART」と表示され、RECインジケーターが点灯します。

CDの最後まで録音が終わると、自動的に停止しRECインジケーターが消灯します。

- 途中で録音を停止したいときは[■]を押します。

お知らせ

- 曲ごとにファイルができます。

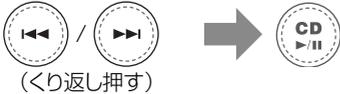
USB 機器に録音する (つづき)

音楽CDから1曲だけデジタル録音する

1曲だけ選んで録音することもできます。

1 音源をCDにする

2 録音をしたい曲を選び、再生または一時停止にする



3 録音する



その曲の最初から録音が始まります。「RECSTART」と表示され、RECインジケーターが点灯します。

1曲録音が終わると、自動的に停止し

RECインジケーターが消灯します。

・途中で録音を停止したいときは【■】を押します。

音楽CDをアナログ録音する

SCMS (⇒30ページ)によりデジタル録音できない場合などは、アナログ録音してください。

・録音は通常速度です。録音中に音が聞けます。

1 音源をCDにして、再生を停止する

2 録音を始めたい曲を選ぶ



・選んだ曲からCDの最後の曲まで録音されます。CDの全曲を録音したいときは1曲目を選んでください。

・お好みの曲順で録音したいときは、プログラムをして再生停止にしておいてください。(⇒15ページ)

3 録音待機にする



(長押し)

アナログ録音モードになり、「ANLG REC」表示が点滅します。

4 録音を始める

「ANLG REC」が点滅中に



「RECSTART」と表示され、RECインジケーターが点灯します。

CDの最後まで録音が終わると、自動的に停止しRECインジケーターが消灯します。

・途中で録音を停止したいときは【■】を押します。

お知らせ

- ・曲を再生中または一時停止中に、【録音/削除】を長押しすると、その曲だけの1曲録音ができます。
- ・曲ごとにファイルができます。

ラジオ/外部機器を録音する

ラジオ放送や外部機器の音をUSB機器に録音することができます。

- 外部機器から録音する場合は、接続して音声入力レベルを調節しておいてください。(⇒22ページ)
- 録音は通常速度です。録音中に音が聞けます。

録音する

1 録音したい音源を選ぶ

2 録音する



- 外部機器から録音する場合は、外部機器の再生を始めてください。「RECSTART」と表示され、RECインジケータが点灯します。
- マーキングの設定(下記)を「MANUAL」に設定したときは、録音中に曲を区切りたい(別のファイルにしたい)ところで**[決定]**を押します。

3 録音を停止する



RECインジケータが消灯します。

ご注意

- 録音ファイルが2 GB(約20時間)に達した場合、自動的に録音が停止します。

録音中に曲を区切る(マーキング)

ラジオ/外部機器の録音中に曲を区切って(マーキング)、ファイルを分けることができます。マーキングを手動で行うか、自動で行うかを設定します。

- 録音を始める前に設定しておいてください。音源がFM、AM、あるいはAUDIO INのときに

1 マーキング設定を確認する



現在の設定を表示します。

2 設定する



(くり返し押し)

設定が切り換わります。

MANUAL: 自動的には曲を区切りません
録音中に**[決定]**を押すたびに曲を区切ります

TIME: 5分ごとに自動的に曲を区切ります

- 曲が区切られるとき、約1秒間途切れします。
- 設定は電源を切っても記憶されます。

曲を削除する

USB機器に録音されている曲を1曲ずつ削除することができます。

- 曲を削除する前に、USB機器をUSB端子に接続してください。
- 削除した曲は元に戻すことができません。削除するときは、よく確認してください。

1 音源をUSBにする

2 削除したい曲を選び、再生または一時停止にする

3 削除待機にする



「PUSH SET」表示が点滅し、削除待機になります。

- ・**[キャンセル]**または**[■]**を押すと、削除を中止します。

4 削除する



「DELETE」と表示され、ファイル削除が終わると「FINISH」と表示されます。



タイマーを使う

スリープタイマーを設定する

設定した時間が経過すると、本機の電源が自動的に切れます。

スリープ

押すたびに時間(単位:分)が次のように切り換わります。

SLEEP > 10

10 → 20 → 30 → 60 → 90 → 120
→ 150 → 180 → OFF → (最初に戻る)

- スリープタイマーを解除するときは、「OFF」を選んでください。

ご注意

- スリープタイマーの動作中もオートパワーセーブ(⇒11ページ)は有効です。

残り時間を確認する

スリープ

残り時間を5秒間表示します。

デイリータイマーを設定する

デイリータイマーを使うと、お好みの音楽で目覚めることができます。

- あらかじめ時計を合わせておいてください。(⇒9ページ)
- あらかじめ音源を準備し、動作することを確かめてください。

1 「PLAY TMR」を選び、決定する



(くり返し押す)

2 「PLAY SET」を選び、決定する



(くり返し押す)

3 タイマーの内容を設定し、決定する



(くり返し押す)

以下の各項目を設定してください

- タイマーの開始時刻(ON)の「時」、「分」
- タイマーの終了時刻(OFF)の「時」、「分」
- 再生する音源
 - 「USB」または「CD」のときは曲番号(USBにiPodが接続されているときは、選択されている曲から再生が始まります)
 - 「TUNER」のときはプリセット番号
- 音量

音量まで設定が終わると、「PLAY SET」と表示されたあと、設定内容が順番に表示されます。

4 電源を切る

電源



リモコン

電源



本体

STANDBY/TIMERインジケーターが橙色に点灯します。

- デイリータイマー動作中は、STANDBY/TIMERインジケーターが点滅します。
- デイリータイマーは、1度設定すれば毎日同じ内容で作動します。

お知らせ

- 操作の途中で【キャンセル】を押すと前の手順に戻ります。

ご注意

- デイリータイマーは、本機の電源が切れているときのみ作動します。
- デイリータイマーの動作中もオートパワーセーブ(⇒11ページ)は有効です。
- デイリータイマーの動作中は、【スリープ】ボタンは無効になります。

デイリータイマーを解除する

「PLAY TMR」から「PLAY OFF」を選び、解除する



(くり返し押し、PLAY OFFを選ぶ)

「TIMEROFF」と表示されます。

1度解除したデイリータイマーを、内容を変えずに再設定する

「PLAY TMR」から「PLAY ON」を選び、再設定する



(くり返し押し、PLAY ONを選ぶ)

「TIMER ON」と表示されたあと、設定内容が表示されます。

録音タイマーを設定する

ラジオ放送や外部機器をタイマー録音できます。

- あらかじめ時計を合わせておいてください。(⇒9ページ)
- あらかじめ音源を準備し、動作することを確かめてください。

1 「REC TMR」を選び、決定する



(くり返し押し)

2 「REC SET」を選び、決定する



(くり返し押し、REC SETを選ぶ)

3 タイマーの内容を設定し、決定する



(くり返し押し)

以下の各項目を設定してください

- タイマーの開始時刻(ON)の「時」、「分」
- タイマーの終了時刻(OFF)の「時」、「分」
- 再生する音源
 - 「TUNER」のときはプリセット番号
- 音量
音量まで設定が終わると、「REC SET」と表示されたあと、設定内容が順番に表示されます。

4 電源を切る



リモコン



本体

STANDBY/TIMERインジケーターが橙色に点灯します。

- 録音タイマーの開始時刻約30秒前になると自動的に電源が入り、録音が始まります。
- 録音タイマー動作中は、STANDBY/TIMERインジケーターが点滅します。
- 録音タイマーは、設定後1度だけ作動します。(終了後も設定内容は保存されています。)

お知らせ

- 操作の途中で【キャンセル】を押すと前の手順に戻ります。

ご注意

- 録音タイマーは、本機の電源が切れているときのみ作動します。
- 録音タイマーの動作中は、【時計/タイマー】/【スリープ】ボタンは無効になります。

録音タイマーを解除する

「REC TMR」から「REC OFF」を選び、解除する



(くり返し押し、REC OFFを選ぶ)

「TIMER OFF」と表示されます。

録音タイマーを内容を変えずに再設定する

「REC TMR」から「REC ON」を選び、再設定する



(くり返し押し、REC ONを選ぶ)

「TIMER ON」と表示されたあと、設定内容が表示されます。

その他

再生できるiPod

Made for (対応iPod)	バージョン* ¹
iPod nano (第7世代)	1.0.2
iPod nano (第6世代)	1.2
iPod nano (第5世代)	1.0.2
iPod nano (第4世代)	1.0.4
iPod nano (第3世代)	1.1.3
iPod nano (第2世代)	1.1.3
iPod touch (第5世代)	6.1.3
iPod touch (第4世代)	6.1.3
iPod touch (第3世代)	5.1.1
iPod touch (第2世代)	4.2.1
iPod touch	3.1.3
iPod classic	2.0.4
iPhone 5	6.1.3
iPhone 4S	6.1.3
iPhone 4	6.1.3
iPhone 3GS	6.1.3
iPhone 3G	4.2.1

*¹ 動作確認時のソフトウェアのバージョン

- iPodの最新の対応状況については、当社ホームページの製品情報をご覧ください。
- iPodについて詳しくは、アップル社のウェブサイトをご覧ください。
<<http://www.apple.com/jp/>>

USB機器のご注意

- USB機器の容量は16 GB以下を推奨します。
- 収録されているファイルが多いほど、本機の読み込み時間が長くなります。
- ソニー製ウォークマンなど、独自のソフトウェアで音楽ファイルを管理しているオーディオプレーヤーは、本機の**AUDIO IN**端子に接続して再生してください。
(⇒22ページ)
- USB機器のセキュリティ機能は、接続する前に解除してください。
- 1度に複数のUSB機器を接続しないでください。また、USBハブは使用しないでください。
- USB機器が複数のパーティションに分かれている場合は、先頭のパーティションのみ認識します。
- 本機の電源が入っている間、USB機器に電源供給および充電されます。
- すべてのUSB機器の動作を保証するものではありません。
- USB機器の取扱説明書もご覧ください。

使用できるBLUETOOTH機器

- BLUETOOTHでの接続には、BLUETOOTH 2.1+EDRに対応し、A2DPとAVRCPのプロファイルに対応している必要があります。

再生できるCDとファイル

CD	下記のマークのあるCDを再生することができます。   
ファイル	• 音楽CDフォーマットのCD-R/ CD-RW • CD-R/CD-RWまたはUSB機器のMP3/WMAファイル

- CD規格(CD-DA)に準拠しないCDについては、動作や音質を保証できません。CDを再生する際は、「CDロゴマーク」の有無や、パッケージのご注意をお読みになり、CD規格に準拠するCDであることをお確かめください。
- CDの特性・記録状態・傷・汚れ、またはプレーヤーのレンズの汚れ・結露などにより本機で再生できないことがあります。
- CDの使用上のご注意をよくお読みください。
- CDテキストの表示には対応しておりません。

CD-R/CD-RWのご注意

お客様が編集したCD-R/CD-RWは、ファイナライズ処理されているCDに限り本機でお楽しみいただけます。

- CD-R/CD-RWを作成するときは、フォーマットを「ISO 9660 Level 1」にしてください。また、パケットライト方式(UDFフォーマット)は使用しないでください。
- 音楽用のCDフォーマットまたはMP3/WMAファイル以外で記録したことのあるCD-RWは、いったん全曲を消去してください。そのまま使用すると、突然大きな音が出てスピーカーを破損するなどの原因になります。
- MP3/WMAファイルの入ったCD-R/CD-RWは、通常の音楽CDよりも読み取りに時間がかかります。(フォルダやファイルの構成により読み取り時間は異なります。)

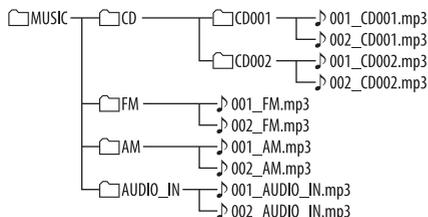
MP3/WMAファイルのご注意

- 再生できるMP3/WMAファイルは「.mp3」または「.wma」の拡張子がついているファイルです。
- 本機では、以下のような転送レートとサンプリング周波数で作成されたMP3/WMAファイルを再生できます。
転送レート: MP3: 32 kbps ~ 320 kbps
WMA: 32 kbps ~ 320 kbps
サンプリング周波数: 32/44.1/48 kHz
- 本機はUSB機器1台あたり最大300のグループおよび999の曲を認識します。また、CD1枚あたり最大99のグループおよび999の曲を認識します。
- DRMファイルは再生できません。
- 2 GB以上のファイルは再生できません。
- 録音状態や記録方法によっては再生できないMP3/WMAファイルもあります。その場合、再生できないファイルはスキップされます。
- MP3/WMAファイルの再生順について(MP3/WMAファイルを含まないフォルダは無視されます。)
 - 再生時は、先に作成したグループから順番に再生します。グループ内では、録音した曲順で再生します。
 - パソコンを使ってフォルダ名(グループ名)やファイル名(曲名)を変えた場合は、順番が変わることがあります。
- 本機はID3 TAG VERSION 1,2を表示できます(ただし半角英数字のみ、小文字は大文字で表示されます)。

その他(つづき)

録音されるファイル

- 本機で録音してできるファイルは、192 kbpsのMP3ファイルです。
- USB機器に「MUSIC」フォルダが自動的に作成され、さらにその中に以下のようにMP3ファイルが録音されます。

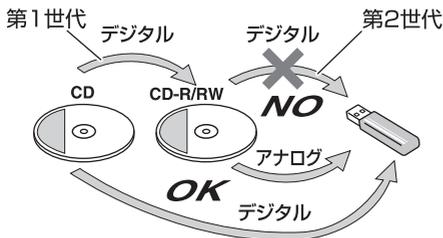


SCMS (Serial Copy Management System)

CDのクリアな音を他のデジタル機器(MD、メモリー、USBなど)にデジタル録音した場合、1度録音した機器から他の機器に再びデジタル信号のままコピーすることはできないようになっています。つまり、「コピーのコピー」を作ることできません。この決まりをSCMS(シリアル・コピー・マネージメント・システム)といいます。シリアル・コピー・マネージメント・システムとは、著作権保護のため、デジタルオーディオ機器間でデジタル信号のままコピーできるのは1世代だけと規定したものです。本機は、この決まりに準拠して設計されています。

ご注意

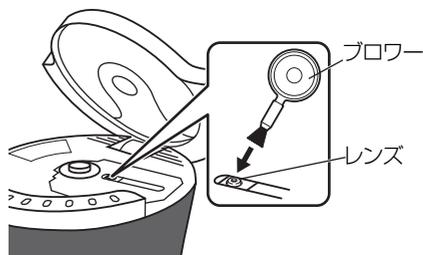
- この規定により1度デジタル録音されたCDからは、USB機器へデジタル録音することはできません。



お手入れについて

CDプレーヤーのレンズのお手入れ

レンズの汚れは音飛びなど演奏ができなくなる原因になります。CDドアを開け、図のようにレンズを清掃してください。



- ほこりなどは市販のクリーニングキットのブローワーを使って、はき出してください。
- 市販のCDレンズクリーナー(乾式タイプ)を利用してください。

CDの取り扱いとお手入れ

ケースから出すとき ケースに入れるとき



- CDにテープやシールなどを貼ったり、字を書いたりしないでください。
- CDは曲げないでください。
- ハートや花などの形をしたシェイプCD(特殊形状のCD)は、絶対に使用しないでください。故障の原因となります。
- CDをお手入れするときは、ほこりやゴミ、指紋などを柔らかい布でふきとってください。



必ず内側から外側へ 連続したキズは音飛びの原因となります。

- シンナーやベンジンなどの溶剤は絶対に使用しないでください。

困ったときは

問題の多くは、当社ホームページ<<http://www.3jvckenwood.com/>>や以下のQRコードから最新の製品Q&A情報をご覧いただくことで解決できます。カスタマーサポートセンターにご相談になる前に下記をチェックしてください。



(QRコードは
(株)デンソーウェブ
の登録商標です)

- ・PCサイトです。
- ・サイトの内容は予告なく変更になることがあります。

共通

電源が入らない。

→ACアダプターを正しく接続してください。

突然電源が切れてしまう。

→オートパワーセーブ(節電機能)が働いています。(⇒11ページ)

設定の途中で操作が取り消されてしまう。

→操作には時間制限があるものがあります。もう1度操作し直してください。

リモコンで操作できない。

→リモコンと本体のリモコン受光部との間が遮られていませんか。

→リモコンの電池が消耗していませんか。新しい電池と交換してください。

音声が聞こえない。

→音量が最小になっていませんか。

→ヘッドホンをはずしてください。

iPod

iPodを再生できない/認識できない。

→USBケーブルを正しく接続してください。

→お使いのiPodが本機で再生できるか確認してください。(⇒28ページ)

→iPodをはずした状態で、iPodをリセットし、本機の電源コードを抜き差ししてください。(iPodのリセット方法については、アップル社のウェブサイトをご覧ください。)

USB機器/CD

再生できない。

→USB機器を正しく接続してください。

→CDはラベル面を上に入れてください。

→CDまたはレンズが汚れていませんか。CDまたはレンズを清掃してください。

→「パケットライト方式(UFDフォーマット)」で録音されたCDは再生できません。

→ソニー製ウォークマンは、USB接続できません。本機の**AUDIO IN**端子に接続してください。(⇒22ページ)

その他(つづき)

MP3/WMAのグループやトラックが意図したように再生できない。

→再生順は、グループやトラックを録音した書き込みソフトによります。

USB機器やCDからの音声途切れる。

→汚れや傷のあるCDは、清掃するか交換してください。

→正しく書き込まれたMP3/WMAファイルを再生してください。

→本機の電源を切り、USB機器を接続し直してください。

CDドアが開かない。

→チャイルドロックを解除してください。

(⇒11ページ)

USB機器に録音したファイルをCD-Rにコピーしたい。

→パソコンでの操作になりますので、お使いのパソコンのメーカーにご相談ください。

BLUETOOTH機器

BLUETOOTH機器に接続できない。

→BLUETOOTH機能がオンになっているか確認してください。

→お使いのBLUETOOTH機器が、BLUETOOTHプロファイルのA2DPIに対応しているか確認してください。

本機からBLUETOOTH機器を操作できない。

→お使いのBLUETOOTH機器が、BLUETOOTHプロファイルのAVRCPに対応しているか確認してください。

音が途切れる。雑音が入る。

→BLUETOOTHの距離限界を超えているか、本機との間に電波に干渉する機器などがある可能性があります。本機に近づけたり、場所を変えて試してみてください。

ラジオ

放送が聞こえない。

→アンテナを正しく接続してください。

(⇒4、5ページ)

雑音が多く放送が聞きづらい。

→アンテナを調節してください。

→本機の電源を切り、入れ直してください。

録音

録音できない。

→USB機器の空き容量がありません。

→USB機器の書き込み禁止を解除してください。

→SCMSでデジタル録音が禁止されています。アナログ録音してください。(⇒24ページ)

タイマー

スリープタイマーが設定できない。

→デイリータイマーまたは録音タイマーが働いていませんか。デイリータイマー/録音タイマー中は、スリープタイマーは動きません。

デイリータイマーが作動しない。

→電源が入っていませんか。デイリータイマーを作動させるには、電源を切ってください。

録音タイマーが作動しない。

→電源が入っていませんか。録音タイマーを作動させるには、電源を切ってください。

上記の処置をしても正しく動作しないときは

本機はマイコンの働きで、多くの動作を行っています。万一、どのボタンを押しても正しく動作しないときは、1度電源コードをはずし、しばらく待ってから接続し直してください。

商標

- “Made for iPod”、“Made for iPhone”とは、それぞれiPod、iPhone専用に接続するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパーによって認定された電子アクセサリであることを示します。アップルは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。このアクセサリをiPod、iPhoneで使用すると、無線性能に影響することがありますので、ご注意ください。
- iPhone, iPod, iPod classic, iPod nano, iPod touchは米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- “Made for iPod” and “Made for iPhone” mean that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod or iPhone, respectively, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this accessory with iPod or iPhone may affect wireless performance.
- iPhone, iPod, iPod classic, iPod nano and iPod touch are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.
- Microsoft, Windows Mediaは、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- は、SRS Labs, Inc.の商標です。
- WOW HD技術はSRS Labs, Inc.からのライセンスに基づき製品化されています。SRS WOW HD™は、オーディオの再生音質を著しく改善し、深く豊かな低音再生、高域の音の抜けの良さと共に迫力ある立体音場を体験して頂けます。
- Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc が所有する登録商標であり、株式会社JVCケンウッドは、これらの商標を使用する許可を受けています。
- Androidは、Google Inc.の商標および登録商標です。

その他 (つづき)

主な仕様

スピーカー部

スピーカー: フルレンジ: 5 cm (コーンスピーカー × 4)、4 Ω
サブウーハー: 10 cm (コーンスピーカー)、8 Ω
実用最大出力: 5 W × 4 + 20 W (サブウーハー) (JEITA*)

CDプレーヤー部

対応ファイル形式: 音楽CD、MP3、WMA

チューナー部

受信周波数: FM: 76.0 MHz - 90.0 MHz
AM: 531 kHz - 1 629 kHz
アンテナ: FM: 75 Ω不平衡型
AM: ループアンテナ

BLUETOOTH部

規格: BLUETOOTH Ver. 2.1 + EDR
最大通信距離: 見通し距離約10m(使用環境によって異なります)
使用周波数帯域: 2.4GHz帯
対応プロファイル: A2DP(Advanced Audio Distribution Profile)
AVRCP(Audio/Video Remote Control Profile)
SPP(Serial Port Profile)

共通部

入出力端子:
USB: 出力: DC 5 V ≐ 1 A
仕様: USB2.0フルスピード規格対応
対応機器: USBマスタストレージクラス機器
対応ファイル形式: MP3、WMA
ファイルシステム: FAT16、FAT32
AUDIO IN: LEVEL 1: 500 mV/47 kΩ
LEVEL 2: 250 mV/47 kΩ
LEVEL 3: 125 mV/47 kΩ
PHONES: ステレオミニ×1
電源:
付属ACアダプター (AA-R2001):
入力: AC 100 V - 240 V、50 Hz/60 Hz、1.5 A - 0.5 A
出力: DC 20 V ≐ 2.6 A
消費電力: 0.50 W以下 (電源待機時)
6.0 W以下 (BLUETOOTHスタンバイ時)
最大外形寸法: 幅 162 mm × 高さ 334 mm × 奥行き 162 mm
質量: 約 2.5 kg

*はJEITA(電子情報技術産業協会)の測定法に基づく数値です。
本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

保証とアフターサービス—必ずお読みください—

保証書

所定事項記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。保証期間はお買い上げの日より1年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

製造打ち切り後8年です。補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

お客様にご記入いただいた保証書は、保証期間中、およびその後の点検・サービス活動のために記載内容を利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。本書は、本書記載内容で、無料修理を行うことをお約束するものです。

1. 保証期間中、取扱説明書および本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で故障した場合は、無償修理または本体部の交換をさせていただきます。その際、当社の判断で再生部品を用いる場合があります。商品と本書をお買い上げの販売店にご持参ご提示のうえ、修理をご依頼ください。
2. 保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げの販売店、またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。
3. 次のような場合は保証期間内でも有料修理にさせていただきます。
 - (1) 本書のご提示がない場合。
 - (2) 本書に型名、製造番号、お買い上げ年月日、お客様名、お買い上げ販売店名の記載がない場合。
 - (3) ご使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障および損傷。
 - (4) お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障および損傷。
 - (5) 火災、地震、風水害、雷その他の天災地変、虫害、塩害、公害、ガス害(硫化ガスなど)や異常電圧、指定以外の使用電源(電圧・周波数)による故障および損傷。
 - (6) 不具合の原因が本製品以外(外部要因)による場合。
 - (7) 一般家庭用以外(例えば業務用などへの長時間使用および車輛、船舶への搭載)に使用された場合の故障および損傷。
 - (8) 消耗品(電池など)の消耗。
 - (9) (持込修理対象商品の場合)
持込修理の対象商品を直接メーカーへ送付した場合の送料はお客様負担とさせていただきます。また、出張修理を行なった場合には、出張料はお客様負担とさせていただきます。
 - (10) (出張修理対象商品の場合)
離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行なった場合は、出張に要する実費を申し受けます。
 - (11) 不注意、許可なしに行なった修正/改造、あるいは事前承諾を得ずに付加した部品またはインストールしたソフトウェア、ファームウェアが原因となって損傷が発生した場合。
4. この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって株式会社JVCケンウッドおよびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

保証書

持込修理

品名	オーディオ商品	製造番号
型名	NX-SA55-B/NX-SA55-R/ NX-SA55-T/NX-SA55-W	
お客様	お名前	ふりがな 様
	ご住所	□□□-□□□□ 電話 () -
お買い上げ年月日	年 月 日	保証期間 お買い上げ日から 本体 1年間
お買い上げ店	住所・店名・電話	

お客様へのお願い

1. 本書にお買い上げ年月日、お客様名、お買い上げ販売店名が記載されているかお確かめください。万一記入がない場合は直ちにお買い上げ販売店にお申し出ください。購入日の確認できる書類（シールやレシートなど）の添付でもかまいませんので、大切に保管してください。
2. 製造番号の記載がない場合は、お手数ですが、お買い上げ商品の製品番号をお確かめのうえ、記入をお願い致します。
3. ご贈答品などで、本書記載のお買い上げ販売店に修理がご依頼になれない場合は、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。
4. ご転居の場合は、事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
5. 本書は再発行いたしませんので、紛失しないように大切に保管してください。

ホームページ <http://www3.jvckenwood.com/>

株式会社 JVCケンウッド

〒221-0022 横浜市神奈川区守屋町3-12